

## 1. < 施策の概要 >

基本理念	住民主体による計画的な行財政運営のまちづくり	統括課	総務部 総務課
基本方針	地域の活性化		
施策名	地域コミュニティ(総務)	関連課	総務部 企画調整課
方針・目標等	◆小学校区圏域コミュニティの実現。◆集会所施設適正管理。		
実施内容	◆町政協力員活動に対する支援・助成。◆集会所耐震化。		

## 2. < 指標の設定 >

重点	指標名	単位	他団体比較 団体名/実績/年度		算式・引用等			
①	集会所数(区立を除く)	か所	木津川市 30	22				
②	自治会加入率	%	京田辺市 87.0	22				
③	集会所(区立を除く)の耐震診断数	か所	木津川市 0	22				
④								
⑤								
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(試算)	H24(試算)
①	目標		-	-	-	-	38	38
	実績		37	37	38	38		
②	目標		-	-	-	-	88.0	88.0
	実績		92.2	89.4	87.7	87.6		
③	目標		0	0	0	0	0	2
	実績		0	0	0	0		
④	目標							
	実績							
⑤	目標							
	実績							

### 3-1. < 指標から読み取れる成果と課題 >

・自治会加入率の維持が、防犯と防災など地域力の向上につながり、住みよいまちづくりを進めることができた。一方、社会情勢が変化する中で、今後も現状の加入率を維持していくことが課題である。

・集会所においては、地区避難所としての機能確保と活発な自治会活動を保証することができた。今後は、財源の問題を整理するとともに耐震化工事の計画的な実行が課題となる。

### 3-2. < 住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点 >

・他団体における集会所の建設では、助成制度により対応する事例が多く見られ、国や府の補助金の確保が可能な場合のみ助成を実施している。

・また、助成限度額を設ける団体も多数見られることから、財源が確保できた場合のみ建て替えを認めるなど運用しやすい事例もある。

4-1. < 施策を構成する事業 >

	重点	部 門 / 事業名 / 種別 / 決算書説明頁	事業費(人件費含む) / 事業費のみ / 事業費一財 < 単位 : 千円 >					
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(予算)	H24(試算)
1	○	総務課	-	-	5,152	39,219	-	-
		集会所建設事業	58,742	315	3,013	36,932	-	-
		投資的的事业 71	-	-	1,506	26,930	-	-
2		総務課	-	-	14,189	11,001	8,244	8,244
		集会所管理事業	5,865	4,673	12,050	8,714	5,957	5,957
		一般事業 69	-	-	12,050	8,672	5,957	5,957
3		総務課	-	-	21,357	21,912	23,570	23,570
		町政協力員等関係経費	19,656	19,814	18,735	18,828	20,486	20,486
		一般事業 83	-	-	18,735	18,828	20,486	20,486
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

4-2. < 施策を構成する事業の成果と課題 >

・集会所建設事業では、精華町新築等費用分担金徴収条例の見直しと精華町地区集会所の新築等費用分担金減免要綱の制定により、地元負担が軽減され、集会所の建替え要望が増加することが見込まれる。一方、設計業務や建設事業に伴う財源の確保がこれまで以上に必要になる可能性がある。・町政の普及徹底など、町と住民とのパイプ役としての町政協力員等の活動により、自治会を基礎としたまちづくりの推進を図るとともに、自治会に対して運営助成等を行い、自治会の自主的な活動への支援を図ることができた。・自治会への加入率の維持向上は、防犯や防災など地域力の向上による安全で安心な住みよいまちづくりに繋がることから、自治会への加入率の維持向上が課題となる。

5. < 施策の今後の方向性 >

・まちづくりの基礎単位である自治会を育成しながら、小学校区を単位とした、コミュニティ圏域の形成を醸成する。  
 ・集会施設の位置づけについても「1コミュニティ圏域1施設」を目指し、現状の各自治会の集会所については、法令上の位置付けを見直す。  
 ・町政協力員制度の見直しにより、報酬を自治会への各種助成金とあわせた包括的な自治会助成への仕組みとして構築していく。